

町会だより

2023年度
No.7

発行日 令和5年11月11日
発行所 人見町会
発行責任者 会長 千賀 慎一

赤い羽根共同募金 封筒募金を30日まで受け付けています

人見町会では、各種の募金にこたえる方法として、町会員の自由な意志により寄付していただくために封筒募金という形でご協力をお願いしており、たくさんの方から温かいご支援をお寄せいただいております。さて、令和5年も残すところふた月を切りました。赤い羽根共同募金はすでに10月から始まっておりませんが、人見町会としてはこの時期、年の瀬に向けて、昨年に引き続き共同募金に協力することになり、町会員の皆様に封筒募金をお願ひすることといたしました。

昨年からの物価の上昇が続くとどまる気配がありません。少しの金額でも多くの方が賛同されればまとまったものとなり、切実に必要とされる方の助けとなります。例年にも増してのご協力をお願いいたします。

人見町会としての募金実施期間は11月30日までです。

寄付していただける方は、お手数でも次の町会役員へお届けくださるようお願い申し上げます。

- ・千賀慎一 会長（23番17号 TEL 51-2691）
- ・佐々木馨副会長（5番46号 TEL 54-3845）
- ・吉田軫一 会計部長（26番10号 TEL 53-2564）

およびその他の町会役員

また、お電話をいただければ、町会役員が受け取りにお伺いいたします。

※募金用の専用封筒はこの町会だよりといっしょに配達されます。



地域住民用雪捨て場が開設されます

いつまでも暖かいといっていたらついに初雪がちらつき冬の訪れです。例年、雪の少ない函館でも異常な豪雪で雪の捨て場に苦慮することがあります。

今年も函館市土木部から、この冬に向けて左記のような注意事項に従ってもらったうえで雪捨て場を開設するとのお知らせがありました。人見町会の範囲では、交番となりの児童公園（正式名称は「人見②児童遊園」といいます）が唯一これにあたります。位置的にも規模的にも全く不十分ですが、お困りの時は助かるかもしれません。緊急避難的にご利用いただけたらと存じます。

ルール・マナー

- 1 一般家庭用なので事業所等は利用できません。
- 2 持込みは、ソリやスノーダンプの用に限りません（軽トラックなどは不可）
- 3 置き場所は遊具や樹木を避けてください。〔下の写真を参照してください〕

（ので、あまりスペースはありません。

特に雪が鉄棒などに積み上がると縮まりながら下がって鉄棒をぐにやりと曲げてしまうほどの力がかかります）

- 4 子供さんには、危ないので積み上げた雪山で遊ばないよう保護者からお話してください。

昨冬の状況は



〈交番の北側から撮影〉

左の低木にまで捨て雪が達して損傷。



〈郵便局の南側から撮影〉

歩道側の生垣の一部が枯れました。左から押し寄せた捨て雪の影響かも。

移動図書館車 ともしび号

11月20日(月)

12月4日(月) 18日(月)

いずれも 13:10~14:10

人見町会館駐車場にとまります。

人見町会文化展を開催しました

今年も全面的に開催できる状況にはないけれど、展示なら可能ではないか、それとステージで実演もできそうという判断をしました。町会だよりの第6号でご案内し作品を募集しましたところ、額装、軸装を含む書道作品、デッサン、絵画、写真額、花鉢、観葉鉢、ニット作品、レース、人形、オリジナル小物、絵手紙、書籍、大森浜小学校児童の習字・絵画など、バラエティーに富んだ内容となりました。自分の作品の前で記念撮影する小学生と家族のほほえましい姿もありました。

ドリップコーヒーやジュースのセルフサービスコーナーとお休みコーナーでは暫しのひとときおしゃべりを楽しみ方もありました。(左の写真のような雰囲気でした。ホームページに出品作品の詳しい写真があります)

十一月にしてはあたたかな穏やかなお天気の中、訪れた方は多くはありませんでしたが、落ち着いた雰囲気の中でゆっくり人見町の文化を味わって行かれたのではないのでしょうか。



文化展会場 お休みコーナー

右は特設パネルに出品作品



力作に見入る来場者



「大道仮設実験 くしゅぼしゅぼ」

小学生もおとなも注目



会館のお花

文化展に出品された
サボテンの小鉢

文化展の作品の写真はこちら↓

https://hitomicho.org/2023bunka_phot.php